

【松本盲学校教育目標】 育む友情 元気なからだ 確かな学び

【本校のミッション】

1 中南信地区唯一の視覚障害教育の特別支援学校

幼児児童生徒の自立と社会参加に向け、乳幼児期からの早期の相談・支援をはじめ、幼稚部・小学部・中学部・高等部まで一貫した教育

専門教育を主とする高等部本科保健医療科および専攻科医療科では、特色ある職業教育の充実

中南信地区の視覚障害教育のセンター的機能として教育相談、通級指導、早期支援などを通してそれぞれの地域での自立と社会参加のための支援

2 松本養護学校分教室との共生する学校

本校に併置されている松本養護学校分教室と、様々な行事や授業などにおいて共生を図り、主体的に、共に学び合う教育活動を通して、互いを尊重し合い、支え合う共生社会に生きる力の育成を推進する

3 地域と協働し幼児児童生徒の生きる力を共に育む学校

本校の近くにある小・中・高校と協働し、交流及び共同学習の充実を図り、生きる力を育む。また、本校の教育活動ができる限り地域に開き、地域と協働して将来の自立や社会参加につなげていく。

【全県の特別支援学校で取り組む重点】

- (1) すべての幼児児童生徒に対し一人ひとりのニーズに応じた教育を提供
- (2) 特別支援学校の専門性の向上
- (3) 地域や企業の方との協働の学びの充実
- (4) 地元の同世代の友との交流及び共同学習の充実
- (5) 幼保小中学校における特別支援教育の対応力の向上を支援

【目指す学校像】

- ・幼児児童生徒が、主体的に学び、互いを尊重しあい、支えあい、生きる力を育む学校
- ・地域と協働し、幼児児童生徒の生きる力を共に育む学校
- ・中南信地区唯一の視覚障害特別支援学校として専門性の向上に努め、地域のセンター的機能を担う学校

【具体的方策】

- (1) 幼児児童生徒の実態を的確に把握し、個別の教育指導計画を作成し、チームで支援する
- (2) 支援部を設け、自立活動の充実を図り、担任等と連携して指導、支援にあたる
- (3) ICT推進リーダーを中心にICT機器を教育活動に活用して個別最適な学びの推進を行う。
- (4) 部活動を位置づけ、視覚障がいスポーツや余暇活動の充実を図る。
- (5) 地域で学ぶ幼児児童生徒が在籍する幼保小中高校への教育相談を行う。さらに「サテライト教室（アイアイ教室）」と「通級指導教室」の充実を図り、地域の視覚障がい児の支援を図る。
- (6) 医療機関や市町村と連携し、視覚障がい児の早期発見に努め、乳幼児期からの早期教育、早期支援の充実を図る
- (7) 医療機関や市町村と連携し、視覚障がい者の職業教育である理療教育の啓発を図り、自立と社会参加のための支援にあたる。
- (8) 視覚障害教育の専門性の向上を図るため研修を行うとともに地域の視覚障害教育の充実のため、研修会を企画・運営する。
- (9) 体育祭や水仙祭などの学校行事、職場実習などの授業等松本養護学校分教室と一緒にできる教育活動を探り、共に学び合う機会を大切にする
- (10) 互いの販売活動などの職業教育など尊重し協力し合う。
- (11) 交流提携校や副学籍校との交流及び共同学習を大切な学びの機会ととらえ積極的に推進する。必要に応じてICT機器の活用を行う。
- (12) 点字ブロック啓発活動の機会を活用して、視覚障がいへの理解を図る広報活動を行う。
- (13) 「ポツポツ旬間」を活用して、視覚障がいについての理解を深めるとともに、他障がいについても学び共に生きていくための心遣い等について学ぶ。
- (14) あん摩マッサージ指圧・鍼・灸に加え、各自が得意なことで地域社会に貢献する活動を行い、視覚障がい者の気構えや能力を発信していく。
- (15) 様々な感染症等について国や県の指針に基づき、学校医と相談の上本校の幼児児童生徒の安全を守るよう柔軟に対応する。
- (16) 想定される自然災害に対応できるようさまざまなケースを想定して避難訓練等を実施する。
- (17) 学校の安全点検を定期的に行い、安全安心な学校づくりに努める。
- (18) 校内ルール（松盲ルール）を定期的に確認し、安全安心な学校づくりに努める。